

実施学年	3年	実施教科 (科目)	社会科	実施日	H24. 12. 11
単元名	公民的分野 第4章 わたしたちの暮らしと経済				
本時の内容 (項目)	暮らしと経済「コンビニエンスストアの経営者になってみよう」				
本時の目標	コンビニエンスストアの経営者の視点から、消費者の消費行動を考えることを通して、生活と経済の関係、経済活動における限られた資源と選択の関係に気づき、経済の学習に興味・関心をもつことができる。				
授業場所	3年A組教室	ICT活用時の 授業形態	一斉学習・個別学習・グループ学習		
ICT活用場面	導入 展開 まとめ・他 ()	ICTの主な 活用者	教師・生徒		
活用するICT 機器	・電子黒板 ・ノートパソコン				
ICTを活用する 目的・ねらい・予想される 効果	本時の学習内容は、コンビニエンスストアを開店する場所を、立地条件や資料をもとに教科書のイラストのA～Eから選択する。本時では、展開でデジタル教科書のイラストや資料を電子黒板を使用して提示する。また、終末でも「第4章を学ぶにあたって」という本文を提示する。電子黒板を使用して資料提示をすることで生徒の意欲を引き出し、生徒全員が課題に取り組む姿勢をつくるとともに、コンビニエンスストアの開店場所を考えるための立地条件や資料を画面や音声で確認することで、多面的に考察することができるようにする。また、開店場所を説明するときに、場所を指し示したり、資料を再度提示したりすることで思考を深めることができるようにする。				
児童生徒の情報活用能力を 育てる指導場面・指導内容					
利用するコン テンツ名・サ イト等	・東京書籍「中学校デジタル教科書 新しい社会 公民」				
参考にしたサ イト・文献 等	・東京書籍「中学校デジタル教科書 新しい社会 公民」指導の手引き				
事前の準備	・電子黒板の準備 ・デジタル教科書がうまく操作できるか確認する				

<p>指導計画（授業の展開）</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンビニエンスストアの利用経験や利用頻度、購入する商品、身近にあるコンビニエンスストアの立地について交流し、課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>コンビニエンスストアの開店場所を考えよう。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 2. 本時の学習の流れについて説明する。 3. コンビニエンスストアを開店する場所のイラストや立地条件、資料を提示する。 ※電子黒板、デジタル教科書を使用する。 4. 提示されたイラストや立地条件、資料をもとに、個人でコンビニエンスストアを開店したい場所とその理由を考える。 5. 開店場所について、グループで話し合い、グループで最適だと思う場所を考える。 6. 全体で交流し、開店するために必要な条件を考える。 7. 「第4章を学ぶにあたって」を読み、本時の学習活動をふまえて、これから経済を学習するにあたって大切にしたい考えをまとめる。 ※電子黒板、デジタル教科書を使用する 	<p>（※情報モラルの指導内容）</p>
<p>ICTを活用した授業時の教師側（指導上）の留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板を生徒全員が見えるように、黒板横の全体から見やすい場所に配置し、画面がどの生徒にも見えているか確認してすすめる。 ・画面ばかりに気をとられず、電子黒板の資料を全員が見ているかどうか生徒の反応を確かめながら操作する。 	
<p>ICTを活用した授業時の児童生徒の反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・画面を食い入るように見ていた。 ・資料の説明音声の音量が小さかったが、聞きのがさないように真剣に聞こうと、私語なく音声を聞いていた。 	
<p>ICTを活用した授業後の評価（実践の手応え）</p>	<p>本時では、デジタル教科書の資料を見せることに時間をとりすぎてしまい、グループでの交流や全体交流、意見を交流したあとの練り合いなどの他の学習活動の時間を十分に確保することができなくなりました。また、準備不足のために電子黒板のタッチパネル操作ではなく、パソコン操作ですすめてしまったため、資料提示に時間がかかってしまった。授業においてICTを活用するためには、日常的に使用し、電子黒板の操作やデジタル教科書やデジタルコンテンツなどの教材の活用に慣れる必要がある。また、ICTを活用した授業を行う際には、教師が事前に機器や教材の準備を十分に行ったうえで、生徒に見せる内容や見せ方の工夫をしなければ、効果が得られないことを実感させられた。</p>	
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板などの機器やデジタル教科書などの教材を日常的に授業に活用することで、ICT活用の技能を向上させる。 ・単元指導計画を作成する際に、どの時間にどのような目的・ねらいをもってICTを活用するのかを明確にして、授業で使用する。 ・デジタル教科書やデジタルコンテンツを授業のどのような場面で提示し、どのように生徒に提示するのか、教材研究を綿密に行う。 	

※情報モラルを指導したときは、その指導事項及び指導内容を記入する。